

道徳通信

愛西市立八開中学校
令和4年3月7日
青ブロック職員



「自分を見つめよう」～道徳「がんばれ おまえ」を通して考えました～

中学時代にいじめに遭った少年は、高校に入学すると「おもしろいやつ」を演じ、人気者になります。しかし本当はさまざまなことに思い悩んでおり、一人になると、ぐったりと疲れ切ってしまいます。少年は同級生の少女を好きになると、そんな面も含めた自分自身を知ってほしいと思うようになります。体面をつくろうあまり、内面に不安を抱える少年の物語を通して、「自分らしさ」について考えました。

●● ●●くん

自分を隠すのは大変で、自分を苦しめるんだと思った。

●● ●●くん

主人公は、頑張って自分の雰囲気づくりをしていたがその所が自分と似ていたから、自分も自分に頑張れと声をかけてやりたいなと思った。

●● ●●さん

結局オレやおまえのように学校と家で違うのは普通なんじゃないかと思った。ただ、どれだけおまえでいる自分が疲れているか。それだけの違いだと感じた。

●● ●●くん

自分らしさとは自然体でいられることだと思う。まだ僕には作っている自分がいるので全てをさらけだして生きていきたい。

●● ●●さん

自分が安心できる友達の前では自分の素が一番出せると思った。

●● ●●くん

自分をどれだけ作っても決して自分にはなれないから、理想の自分を演じるのではなく変わること、そしてありのままでいることが自分らしさにつながっていくと感じた。

●● ●●さん

キャラ被るって疲れるんだな、大変だなんていうこと。少年の「『明日はどんなことを言ってみんなを笑わせよう』と必死に考えている」というところに共感した。

●● ●●さん

自分のありのままの姿を少しずつだしていけば自分らしさにつながると思った。

●● ●●さん

キャラを作ることは別に悪いことではないと思うけれど、素の姿を見せることで新たな自分で生きていけることもいいと思った。

●● ●●さん

本当の「自分らしさ」とは、ありのままの自分だと思った。自己を見つめることで、自分の良いところや、短所などが見えてくると思った。ジャムボードの時の意見で、オレじゃなくておまえになるという意見があって、確かにと思った。自分が理想とする人物になろうとするのもいいなと思った。

●● ●●くん

別に、素の自分を出すことは悪いことじゃないけど、しんどいとなってくると話は変わってくると思う。

●● ●●くん

なんか複雑だなと思った。誰でも何枚か裏とか仮面とかがあると思うから自分に自信を持ったりしたりするのが良いと思った。そしてそういう人の周りにいたら、理解して接するのがいいかなと思った。

